

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立友和小学校	校長	二野宮 大英	生徒指導主事	竹本 幸子
-----	------------	----	--------	--------	-------

取組事例名	『縦割り班集会をしよう』
-------	--------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性・積極性」	2	「自己理解・自らの自信」	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

- ・縦割り班のメンバーで共に活動することで、多様な学年の友達とコミュニケーションをとったり、協力して活動する楽しさを感じたりする。
- ・掃除以外でも縦割り班で活動することで、縦割り班の楽しい思い出を作る。

取組の具体的内容	取組の創意工夫
----------	---------

- 運営委員会で、全校のみんなで楽しめる活動を考える。
 - ・ドッジボール大会 ・縦割り集会（遊び・宝探し集会）
 - ※縦割り班は、掃除の縦割り班を活用する。
- 運営委員会の中でプロジェクトチームを作り、活動の具体的内容を考え、全校に提案できるようにする。
 - ・ドッジボール大会は、低・中・高学年グループで対戦する。
 - ・縦割り班集会を4回行い、宝探しを1回行う。クイズや謎解きをして、教室などに隠した宝（シールのバッジ）を探し出す。
- ドッジボール大会や縦割り班集会を行う。
 - ・ドッジボール大会（2週間程度：昼休憩に実施）
 - ・縦割り班集会（4回：ロング昼休憩で実施）



- 振り返りを行い、書いた感想を掲示し、全校で交流する。

- 『キーワード：みんなで楽しもう』
- クラスでドッジボールの練習をしたり、応援したりするなどクラスの団結力を高める。
- ・運営委員会の児童が企画運営することで、達成感をもたせる。
 - ・ドッジボールでは、他学年との交流も楽しめるように対戦の組み合わせを考える。
 - ・縦割り班遊びでは、6年生をリーダーとして、児童が遊ぶ内容を考え、楽しめるように教員が見守る。
 - ・グループ内の友達との交流の楽しさを振り返ったり、お世話をしてくれた上級生への感謝の気持ちをもたせたりする。

取組の成果と課題					
----------	--	--	--	--	--

- 取組後のアンケートでは、「楽しかった」と答えた児童が93%であった。運営委員会の児童もこの結果に取り組んだかいがあったと充実感を感じていた。
- アンケートから、次年度に向けて、学校自慢の行事となるように児童と共に方法を見直していきたい。